

施設見学会 開催報告

2025年9月27日（土）に、第2回目となる施設見学会を開催いたしました。
日頃よりお世話になっている企業・団体の皆様や、ケアリーバーの支援に関心をお持ちの企業の皆様、計14名にご参加いただきました。
ご多忙の中ご参加いただき、また多くのご意見・ご感想を賜り、誠にありがとうございました。
当日の見学会の様子や、意見交換会にていただいたご意見について、ご報告申し上げます。

1. 開催内容

今回の見学会では、三光塾の取り組みとあわせて退所者の現状と課題について、4つの事例を中心にご紹介させていただきました。職場で支えながら働く者や社会的に孤立し就労に繋がりにくい者など、様々な現状をご紹介させていただきました。

特に過去の被虐待経験や不登校経験、境界知能…児童養護施設を退所したケアリーバーは多くの傷つきや背景を抱えており、ケアリーバーが社会の中で自立していくためには、緩やかな段階的な支援とたくさんの支えが不可欠です。そういった支えの中で、自信を持ち、生き生きと暮らしてほしいという願いを込めて、今回の見学会を実施いたしました。

また、今年は「企業・団体と施設ができる連携のかたち」をテーマに、参加者の皆さまとグループディスカッションの時間も設けさせていただきました。多くのご意見・ご感想をいただき、今後の支援のあり方を考える上で、大変貴重な機会となりました。



2. グループディスカッションでいただいたご意見

- 自分で道を拓いていける子、支援のルートに乗れる子ではなく、その中間の子たちにしんどさがあると思う。好きなことの興味を広げてあげることによって仕事に繋げてあげたい。お仕事体験は子どもたちは興味はあるのか？→子どもたちの中には集団の行事に参加することが苦手な児童もあり、個別的な機会があれば、施設側もとても嬉しい連携のかたちです。
- KOBE未来フェスなど、こどもが楽しめるイベントから子どもたちの世界を広げることもできるのでは？
- 誰しも精神的なしんどさを抱える可能性がある。どんな人も受け入れられる職場環境づくりが大切。職場に担当を決めて職員と繋がることで、ケアリーバーも安心して働けるのでは…。
- シルバー雇用や外国から来た方などもたくさんいる。フォローしながら働く体制は、同じではないか。
- 企業が理解していても、一緒に働く人の理解や繋ぎを意識していく必要がある。
- 施設職員側の支援で大変なエピソードも知りたい。そこを知ることで、もっと連携が必要な部分が見えてくるかもしれない。
- 得意なこと、苦手なこと、不安なこと…特性的な部分を先に共有することで、適材適所の雇用に繋がられるかもしれない。
- 企業側も求人情報や会社紹介を子ども向けに作成することで、不安を和らげる材料になるのではないか。
- 境界知能の子どもたちには、支援が必要な部分が見えにくく、難しさもある。就労までに実際に見学や会いにいくことを重ねて、丁寧に繋がっていくことが必要だと思う。

3. ご感想

- 施設に入所している子どもたちの様子や、施設退所後の就職状況についてわかり良かった。
- 自立することの大変さ、社会との関わりの難しさがあるのだと改めて知りました。
- 成功事例と失敗事例を比較した内容があっても良かった。
- ディスカッションの時間で、資料説明に加えて実際の話が聞けて良かった。
- もう少し具体的な退所者のケアを教えていただけると学びになると思った。
- 次回もこのような機会があれば、ぜひ参加させていただきたいと思います。

4. まとめ

今回の施設見学会では、皆さまから多くの温かいご意見やご感想をいただき、支援の輪の広がりを感じました。そして、皆さまのご理解とご協力が、退所者の自立に大きな力となることを改めて感じました。これからも子どもたちや退所者が安心して自分らしく歩んでいけるよう、取り組んでまいります。一人ひとりの自立を支えるために、皆さまと一緒にできることを考え、形にしていけたらと思います。

今後の支援の広がりに向けて、最後に皆さまへのお願いを少しまとめております。ご覧いただけますと幸いです。

三光塾からのお願い

三光塾から「皆さまにご支援いただきたいこと」をまとめさせていただきました。
厚かましいお願いで大変恐縮ではございますが、ぜひ、目を通していただければ幸いです。

01 アルバイトのお誘い

三光塾の高校生年齢の子どもたちにとって、アルバイトの面接に申し込むこと自体、とてもハードルが高いのが現状です。長期的なアルバイトはもちろん、単発のイベント等のお声がけをいただくことも、働くきっかけとなり、とてもありがたいです。

「働くことができた」経験はとても大きな自信となるので、応援・ご理解していただける皆様のもとでアルバイトをさせていただけるとありがたいです。

02 就職の受け入れ

過去の経験から、就労に関して同年代と同じようにスタートを切ることが難しい、就職の継続や再就職が難しいケアリーバーが数多くいます。

三光塾の職員も、もちろん共にサポートしますので

三光塾と連携して就労の継続をサポートをしてくださる企業を探しています。

03 職業インターン体験の受け入れ

仕事のイメージがついていない子どもたちに、1日から可能なインターン体験をお願いしたいです。「仕事を知る」経験が、就労に対するハードルがぐっと下がる機会となり、就労のイメージ作りにもなるのではと考えています。

子どもによっては、プレッシャーから当日朝に動けない...等ご迷惑をおかけするかもしれません。「またおいで」とチャンスをいただき、応援していただける支援者を探しています。

04 経済的なサポート

施設を出て社会で頑張るケアリーバーは、頼る先も少なく、経済的に苦しい者も多いです。そういった場面で、地域の皆様や企業の皆様からのご寄付にいつも助けていただいております。引き続き、お力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

ご支援いただきたい物品の詳細については、下記のAmazon「みんなで応援」プログラムと、裏面にリストにして、掲載させていただいております。

Amazon「みんなで応援」プログラム

https://www.amazon.jp/hz/wishlist/ls/2ACIOPNDSRGK2?ref_=wl_share



①②③についてご検討していただける企業の皆様、全てのご支援に関するご質問は
下記までご連絡ください。(担当：瀧野/出口)



0798-41-4421



info@sanko-jk.jp

ご支援いただきたいです



現金の寄付は可能ですか？

三光塾は以前より「三光塾進路保障基金」として口座を保有し、退所者への寄付金を運用させていただいております。退所者支援の寄付金につきまして、これまで当施設では退所者へ貸与を対象とした寄付に限定させていただいておりましたが、今年度より給付によるご支援もお受けできるようになりました。いただいたご寄付は、施設内で慎重に使用方法を検討し、必要に応じて有効に活用させていただきます。

りそな銀行 西宮支店 普通預金 3292929
サンコウジュクシンロホショウキキン ダイヒョウ ソバガキカズヤ
口座名：三光塾進路保障基金 代表 側垣一也



こんなご寄付をいただけるとうれしいです！

一人暮らし家電	故障の際に買い替えも高額なため、困っているケアリーバーがたくさんいます。
商品券	緊急でなにか支援したいときに使わせていただきやすいです。
ベビーグッズ	出産して母となり頑張る者も増えてきています。そのときの状況にはよりますが、ベビーグッズは高額のため寄付はとてもありがたいです。月齢に合わせた希望商品を「Amazon みんなで応援プログラム」に掲載させていただいております。
防災グッズ	ひとり暮らしの生活の中でもある程度の備えができるよう、退所者に贈りたいです。
お米	最近のお米の手に入りにくさもありますが、遠方在住のケアリーバーに物資を届ける際には、送りやすく喜ばれます。
食料品	食料品や生活用品は日頃使うものでもあるので、とても喜ばれます。遠方在住の退所者にも届けやすいです。ケアリーバーの希望に合わせて、「Amazon みんなで応援プログラム」に掲載させていただいています。

Amazon「みんなで応援」プログラム

https://www.amazon.jp/hz/wishlist/ls/2ACIOPNDSRGK2?ref_=wl_share

